

2022/11/30

リトルハウス通信

11月14日、板橋区の障がいサービス課が主催する「障がい者レクリエーション・スポーツ教室」にリトルハウスのメンバー5名が参加しました。今月のリトルハウス通信はそのご報告をさせていただきます。

この教室の主な流れですが、13時30～15時30分の中で、前半はボランティアの方が指向を凝らして考えてくださったスポーツレクリエーションを行い、後半はボッチャを行うというものでした。

前半はペットボトルとカレンダーを巻いた紙で作ったクラブで、養生テープを丸めた球を打つゴルフ形式のレクリエーションです。



ゴルフをモチーフにしたレクリエーションはリトルハウスでも行ったことがあるのですが、こちらの教室のゴルフレクでは、球の形状がボコボコしていて、狙い通りになかなか球が転がっていかないのが逆にスリリングでリトルハウスのメンバーからも「リトルハウスでもやりたい！」と大好評。いつかリトルハウスのレクにも取り入れたいと思います。

そして後半はみんなお待ちかねのボッチャです。リトルハウスでは毎月一回、スポーツレクリエーションとしてボッチャをやることが多いせいか、メンバーそれぞれが思う存分楽

しめた模様です。またリトルハウスのメンバーが、施設外の地域の方々と協力し合ってゲームの中で勝利を目指している姿は新鮮な光景でした。

この「障がい者レクリエーション・スポーツ教室」は長い歴史があり、障害者とボランティアとの貴重な交流の場になっているようです。そして支援する側、される側という立場を超えて「地域交流の場」にこの教室はなっていると強く感じました。

その中に我々も入れていただけたことに大きな意義を感じます。それは普段、自宅からリトルハウスや通院先への往復が主な生活様式になっている利用者の方々が多く、地域住民との交流が持ちにくい現状があるからです。

地域共生社会が提起されて久しいですが、支援においても施設内や訪問系だけで完結しがちであり「地域の方々との支え合い」というところまでなかなかたどり着けません。

しかしこの「障がい者レクリエーション・スポーツ教室」に今後も参加させて頂くことで、「地域の顔見知り」に皆さんとなるところから、良好な関係性が作れたら非常に嬉しく思います。

(鈴木)

